



この未来は明るく可能性が広がっています。その発展には技術の進歩と社会の課題に対する対処が必要です。

次号(153号)の12月1日にな

くるりch
<https://www.youtube.com/@ch-yx7py>
遊びに来てください！

江戸時代の資源循環は幕府による「ぜいたくは禁じられ、古物は古布回収が中心となっていました。回収された古布は主に海外に輸出され古着として活用され、国内では工業用のウエスなどとして使用されます。

この未来は非常に興味深く、期待されるものが多くあります。まず、AIはますます人間の日常生活に浸透し、生活の質を向上させるでしょう。

この未来は明るく可能性が広がっています。その発展には技術の進歩と社会の課題に対する対処が必要です。

☆禁忌品の詳細はこちらもご参照ください。公益財団法人 古紙再生促進センター <http://www.pripc.or.jp/recycle/home/>

SDGsを達成するには先人の知恵がピン

SDGsの17を2030年までに達成するには、古布古着の3R以外にも江戸時代の人々の生活が良し教科書になるのかもしれません。

編集後記

古紙をリサイクルする際、製紙原料にならないものを「禁忌品(きんきひん)」といいます。日本の古紙は分別が徹底している為「JAPAN QUALITY」と言って海外では人気があるようです。これからも分別をしっかりと確認しながら限りある資源を守っていきましょう。

禁忌品一覧

- 臭いのついた紙(石鹸、洗剤、線香の紙箱等)
- プラスチックのついた牛乳パック(取り除けば可)
- シール、ステッカー
- 糊のついた封筒や窓付きの封筒(取り除けば可)
- 防水加工されたもの(紙コップ、ヨーグルトの容器等)
- カーボン紙(宅配便伝票等、黒くなるもの)
- 感熱紙(レシート等)
- 圧着ハガキ
- 写真(インクジェット等、自宅で印刷した写真も含む)
- プラスチックフィルムやアルミ箔などを貼り合わせた複合素材(通販用緩衝封筒)
- 金、銀などの金属が箔押しされた紙
- 捺染紙(布等にアイロンでプリントしたりする紙)
- 感熱性発泡紙(点字等で使用されているもので熱を加えた所が盛りあがる紙)
- 合成紙(選挙の公示用ポスター、投票用紙などプラスチックで作られているので正確には紙ではない為)

通信販売の段ボールの中に入っているビニールや発泡スチロールはプラスチック回収に。

古紙回収には段ボールだけにしてから出してね!

混ぜっていると機械が壊れたりせつかつくつた再生紙を捨てないといけなくなったりしちゃうのです...!

MOTTAI NAI!!

ぺたぺた...ツルツル...ポコポコ...さわってみてふつうの紙とちがう感じがしたら調べてみてね!